

平成 28 年度 SOP 研修会アンケート集計結果

1. 研修内容

- 1)日 時 平成 29 年 1 月 25 日(水)
- 2)場 所 日本特殊陶業市民会館 3階 第2会議室
- 3)受 講 者 12 名(男性 7 名、女性 5 名)
(参考:H27 年 11 名、H26 年 13 名、H25 年 17 名、H24 年 12 名)
- 4)プログラム 表 1 に示す

表 1 プログラム

時 間	内 容 (敬称略)
9:30~10:00	受 付
10:00~10:10	開講挨拶 一般社団法人 愛知県環境測定分析協会 代表理事 一般社団法人 日本環境測定分析協会 中部支部 支部長 河野 達郎
10:10~11:50	講義:「SOP とは」 講師 株式会社ユニケミー 取締役 中安 史隆
11:50~12:50	休 憩
12:50~14:50	演習: SOP のグループ作成 (SS の分析)
14:50~15:10	休憩 20 分間
15:10~16:10	発表: 作成した SOP のグループ発表 ・受講者間での質疑、意見交換 ・講師質問等
16:10~16:20	講師講評
16:20~16:30	閉講式 (終了証交付)

備考) グループ演習は、4 名/班×3 班の編成としました。

2. アンケート調査結果（概要）

(1) アンケート回収率

受講者全員からアンケートの提出があった。(回収率 100%)

(2) アンケート調査結果概要

質問1「今回の研修内容についてのご意見・感想をお書きください」

いろいろな意見や感想が寄せられたが、参考になった・有意義であったとの肯定的な意見が12名の方から寄せられた。主な意見は次のとおり。

① SOP理解に役立った・参考になった(12名〔全員〕)

SOPの作成方法及び重要性について理解できた等の意見・感想が多く寄せられた。

- 今回の研修で行った活動こそが分析業務の正確さを担保し信頼を得る手段であることがわかった。
- SOPの必要性(教育のためだけでなく試験結果の保証になる)が理解できた。
- 自分で作るという貴重な体験と経験が出来た。
- 経験談や時事の問題について触れており興味を引かれ良いと感じた。
- SOP作成では複数でチェックした方がより良いものになると感じた。
- より安定して正確な分析を行うよう改善します。
- 学んだことを生かし社内で分かり易い資料の作成を心掛けたい。
- 基本事項と実務レベルでの詳細は事例により大変ためになった。
- 「誰でも同じ操作が行われる」「人に見せられる様に作成する」のは重要だと感じた。
- 自社のSOPが大丈夫か確認してみます。
- 講義は体験談を聴くことが出来て大変貴重な時間でした。
- 班で書いている内容が違っていたので実際に作成するときはフォーマットを統一する必要のある必要があると感じた。
- 社内だけでは学べない事を知ることが出来て勉強になりました。
- 講義で聞いた内容をSOP作成の実践で確認しながら取り組むことが出来たので身に付きやすいプログラムになっていた。
- 話し合いの中で新しく気づく事や自社のSOPに欠けている所を知ることが出来た。

質問2「来年度の研修に対する要望」

質問 2.1)「研修時間」

12名全ての受講者より「今回と同様でよい」との回答が得られた。

質問 2.2)「その他」

以下のご意見、ご要望が寄せられた

- 他の会社がどのようにSOPを作成・使用しているか交流する時間があれば良かった。グループ内では会話があるが他のグループとは出来なかった。
- 研修時間についてグループワークの時間が短く、発表の時間が余っていたので、もう少しバランスを取られたら良いと思う。
- 午前の講義の間に5～10分、休憩があると有難かった。
- 同業他社の方と話す機会はとても貴重なので、意見交換できる時間がもう少しあると嬉しく思います。
- 講師の方の話が非常に分かり易く、特に現場で何を考えながらSOPを作っていけば良いか仕事への姿勢が参考になりました。

以上